

□議員名：高松秀樹

1 一般廃棄物の処理について

論点	小売店、飲食店、小規模事業所などから排出される比較的少量の事業系一般廃棄物を自治会のごみステーションで定期収集できないか。
回答	県内の状況を調査したところ、1か所であるが条件をつけて一部収集をしておられる市もある。本市のごみの収集における各種課題を抽出、分析し、少量の事業系一般廃棄物を含め、収集すべき対象について検討はしてまいりたい。

論点	現在の指定ゴミ袋は、取っ手が付いて非常に好評だが、裂けやすい材質である。丈夫で裂けにくい指定ゴミ袋に変更できないか
回答	枝など鋭利なものをごみとして入れた場合に、裂けやすいという課題は確かにある。現在のごみ袋の仕様は維持して、別の材質で裂けにくいごみ袋を追加できないかということは今後検討する。

2 死亡時の行政手続きの負担軽減について

論点	市民が自ら担当の係を回っていくのではなく、職員が次の係の職員へバトタッチしていくことにより、市民の負担軽減になるのではないか。
回答	市民の方を次の窓口にお連れをするということは、大変貴重ないい対応だと思うので全庁的にそのようにきっちりできるように関係課で調整を図って、ぜひ取り組みたい。

3 入札について

論点	契約の履行の確保と取引秩序の混乱防止のため、設計や監理などの業務委託なども最低制限価格を設定することができないか。
回答	業務に係る見積価格の格差が大きいことから、判断基準額を設定するのは今のところ難しいと考えている。しかし、現在、県内の14市のうち6つの自治体が最低制限価格を設定され、独自の基準を定めている。

4 体育館への空調設備設置について

論点	避難所となる体育館や講堂への空調設備の設置は急務ではないのか。
回答	現在、多くの避難者を受け入れることのできる市民体育館については、検討している。今後、空調設備の設置については、費用対効果を含めながら検討を進めていく。